

第1回 北区新庁舎新築基本設計検討会 概要

- 日時 令和8年5月8日（金）17:30～20:30
- 場所 第一庁舎3階 庁議室
- 次第
 - 1 開会
 - 2 委員長・副委員長の選出
 - 3 委員長挨拶
 - 4 議事（1）検討会・新庁舎の現状について
（2）検討項目の確認について
 - 5 事務連絡
 - 6 閉会

●会議概要

1 開会

2 委員長、副委員長の選出

委員長は小野田委員に決定。また副委員長は吉良委員に決定した。

3 委員長挨拶

難しい状況下で、合理的な新庁舎整備事業を進めるため、行政と専門家、そして区民が一体となる必要がある。

4 議事

（1）検討会・新庁舎の現状について

（2）検討項目の確認について

（整備基本方針について）

つなげる「まちの1ピース」、かさねる「フェーズフリー」、ささえる「ハピネスステーション」の3つとする。

機能を優先し、設計をシンプルに合理化していく必要があり、コスト面検討の必要性が指摘された一方で、庁舎として価値のあるものにしていくことも重要、今後の働き方に柔軟に対応するべきといった意見もあがった。

（建物形状について）

一般的な四角形の建物形状でなく、現状のプランとしては、敷地形状に合わせた建物形状（街区型）としており、敷地の広さを最大限に活用し、低層化したうえで、建物中央には光や風を取り込む吹抜を設けている。まちづくりや景観形成の観点から優位性があり、先行実施地区において、低層部をまちに開く設計は重要であるとの意見があった。一方、建物の合理性や施工性向上のために、外壁や吹抜部分の曲線を少なくするなどのシンプル化も同時に考えるべきであり、高層化しな

いように建物形状や吹抜形状などを合理的に考えてほしいとの意見もあった。
意見を踏まえ、平面一部カット案、一層減らす案を含めて、引き続き検討することとする。

(構造について)

構造設計の前提となっている、低層部の大空間はにぎわいのみならず、災害時の機能も考慮している。構造を構成する部材は、少ない種類で計画するなど、シンプル化の余地があるという意見が出た。引き続き調整とする。

(フェーズフリー、ジオガーデンの考え方について)

設計において大切にしている考え方として、重要性を再確認した。丁寧に説明を重ね、従来の方針で進める。

(ヘリポートについて)

コストを懸念する声が上がったため、費用対効果を精査していきたい。

(バレーコニーについて)

メンテナンスや避難時に必要なものとして計画をしているが、合理的であることが確認できていないので、次回再度議論したい。

(ZEB について)

ZEB Ready を達成するように調整をすることで意見が一致したが、外装ルーバーの合理化を求める意見もあった。

(施設構成について)

将来的に窓口業務が減少し、相談業務が増加することを見据え、プライバシー配慮やレイアウトの柔軟性を確保することが重要という意見が出た。意見を踏まえ検討を継続する。

5 事務連絡

6 閉会